

# 東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

記入日: 7/30/2018

■参加プログラム: IARU Global Summer Program

NUS2: Asia Now! The Archaeology of the Future City

■プログラム情報: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-IARUGSP.html>

■派遣先大学: シンガポール国立大学(NUS)

■プログラム期間: 6/25/2018 ~ 7/20/2018

■東京大学での所属学部・研究科等: 教養学部

■学年(プログラム開始時): 学部 1

## ■参加にあたってこの時期を選んだ理由:

I've got all the credit required by this summer and I have free time from April to September. Also, almost all of other students have some credit to take this semester and they cannot participate in this program, so I thought it was less competitive than other programs.

## ■参加を決めるまでの経緯:

My senior told me about IARU and how attractive it was last year. I decided to participate in this program then and applied for it.

## プログラムについて

### ■概要:

3 days in a week : lecture and discussion

1 day in a week : field trip (3 times in total)

others : participating some conference, work shop, working on presentation and essay

Though I was not used to participating the class that was based on the preparation for the class and discussion in the class, I found it very exciting and helpful for my study.

### ■学習・研究以外の活動で取り組んだもの:

I went to visit two companies by contacting someone I knew.

### ■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由:

I went to an IT company and a Japanese company which sells Japanese rice in Singapore and listened to the employees there.

### ■週末の過ごし方:

I did some sightseeing in Singapore (e.g. going to Sentosa island and University Studio Singapore etc.) Also, I traveled to Vietnam with some foreign students in the same program.

## 派遣先大学の環境について

### ■設備:

There were gym and pool for free and I sometimes go there with my friends. Cafeteria was not crowded because it was a summer vacation in NUS. It offers a lot of cuisines from various countries including Japan. There is a Starbucks near my college and it was a good place to work.

**■サポート体制:**

The professor was so kind and enthusiastic. When I was struggling with my essay and sent an e-mail to her, she kindly explained what I should do next, how I could collect information needed and so on.

**プログラム期間中の生活について****■宿泊先の種類:**

学生寮

**■宿泊先の様子、どのように見つけたか:**

Individual room was provided for each students. Shower, toilet, kitchen and fridge were shared. I did not have to worry about accommodation because NUS recommended us to stay in one of the colleges in the campus.

**■気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等:**

Weather was better than I expected with cooler temperature than Tokyo. Transportation is a little inconvenient. We had to take the bus to the station or walk 20 minutes to reach the subway station.

Campus was so big and beautiful. Students there are very diligent and there were still not a few students studying even at 1:00a.m.

Food was very cheap and delicious, but they are oily. Almost all of the foods are rice or noodles and there were less choices of meat, fish, and vegetable in Singapore than in Japan.

**■お金の管理方法、現地の通貨事情:**

I used Credit card to withdraw money and did not bring much cash from Japan. I brought 30,000 yen from Japan and exchange them in the shopping mall in Singapore. Though I could use credit card in shopping malls, I could not use it in the market.

**■治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理:**

Singapore is very safe and I could come back to the college at midnight without worrying about safety. Though the amount of assignment is very large, especially, at the end of the module, sleeping well is very important.

**■自由時間に利用した交通手段:**

列車

**■プログラム期間中に利用したネット環境:**

キャンパス Wifi, SIM, There was a wired LAN in my room, so I brought a machine to make it wireless.

**参加前の準備・手続きについて****■プログラムへの参加手続き:**

I carefully read the homepage of IARU so that I could understand the contents of each program and think what I should write for the application. Also, reading reports of people who joined IARU programs was very helpful.

**■ビザの手続き:**

VISA was not required for us.

<b>■医療関係の準備:</b>
Nothing particular.
<b>■保険関係の準備:</b>
Checking the mail box carefully and following the direction of the university were enough for me.
<b>■東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続き:</b>
I told my professor that I could not make it for the class during the term of this program. I think some professor will give you some extra assignment to score your grade without class attendance.
<b>■語学関係の準備:</b>
TOEFL: 102, IELTS: 6.5
I did not prepare for the program well but after going to Singapore, I regret that I should have practiced listening in Japan. It was so hard to listen to their fast English.

### 費用・奨学金に関すること

<b>■参加するために要した費用:</b>	
航空費	70000 円
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)	200000 円
教科書代・書籍代	0 円
海外留学保険料(東京大学指定のもの)	8000 円
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)	0 円
<b>■その他、補足等:</b>	
航空費はプログラム後のタイ旅行と預かり荷物の料金を含む	
<b>■留学先で費やした生活費:</b>	
家賃	100000 円
食費	40000 円
交通費	10000 円
娯楽費	50000 円
<b>■その他、補足等:</b>	
Transportation fee and food are extremely cheap in Singapore.	
<b>■プログラム参加のための奨学金の受給有無:</b>	
受給した	
<b>■奨学金の支給機関・団体名等:</b>	
JASSO, the University of Tokyo	
<b>■受給金額(月額):</b>	
200000 円	
<b>■受給金額についての補足等:</b>	
100000 yen each	
<b>■奨学金をどのように見つけたか:</b>	
大学(本部国際交流課)からの案内	

## プログラムを振り返って

### ■プログラムに参加したことの意義、その他所感:

I realized how little I knew about Japan when some students asked about Japanese politics and economics. Also, my English and discussion skills are not enough to discuss deeply with students overseas. This experience made me notice the necessity of studying both English and Japanese politics as well as other social issues all over the world. I will make every effort to improve my English skills and build knowledge so that I can tell my persuasive opinions based on the knowledge to overseas students.

### ■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響:

Program itself does not have any influences on my career. I just thought I should study more.

### ■進路・就職先(就職希望先):

未定

### ■今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス:

IARU is a great chance for you to meet excellent students from all over the world and broaden your perspective. You should join it!

### ■準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物:

Go global (the University of Tokyo), IARU (homepage)

# 東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

記入日: 8/2/2018

■参加プログラム: IARU Global Summer Program

NUS2: Asia Now! The Archaeology of the Future City

■プログラム情報: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-IARUGSP.html>

■派遣先大学: シンガポール国立大学(NUS)

■プログラム期間: 6/25/2018 ~ 7/20/2018

■東京大学での所属学部・研究科等: 教養学部

■学年(プログラム開始時): 学部 1

■参加にあたってこの時期を選んだ理由:

1年程度の留学を三年次に考えており、その前段階として比較的時間に自由の利く2年次に留学したいと考えたから。

■参加を決めるまでの経緯:

視野を広げることと語学力を伸ばすことを目的として、1カ月程度の留学に参加したいと1年生の頃から考えていました。このプログラムを選んだ理由は内容が都市に関わるものであり、自分の進路を考える上で役立つと考えたためです。2S セメスターの授業を原則履修できないという規定が留学を迷う要素でしたが、1年次に必要単位を(2S1 タームの必修を除き)全て取得することで対応しました。

## プログラムについて

■概要:

授業は週4日(月~木)、3時間でした。毎回予習として3~5本程度の論文を読みます。授業には、講義を1時間+休憩30分+ディスカッションを1時間半行うものと、フィールドワークを行うもの、専門家を招いてディスカッションするものの三種類ありました。プログラム期間中には都市に関する国際学会を見学しました。社会学を基にした議論のため、理系の私にとってはこれまでにない知見を得る良い機会となりました。

■学習・研究以外の活動で取り組んだもの:

取り組んでいない

■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由:

一カ月と短期だったので、観光やプログラム参加者との交流に時間を使いました。

■週末の過ごし方:

シンガポールの観光をしました。チャイナタウンやマリーナベイサンズなど様々な名所があり、見ごたえがあります。プログラム後半はエッセイに時間を割きました。

## 派遣先大学の環境について

■設備:

NUSの学生証が支給されたため、大学の設備を利用できました。無料のジムを利用できた他、食堂も学生料金でした。寮の部屋にはWifiが通っていただけでなく、有線LANもあったのでそちらも利用しました。

■サポート体制:

最終課題に向けて相談の時間が設けられ、読むとよい論文などのアドバイスをもらいました。また、それ以外にも相談があれば担当の先生にメールして対応してもらいました。

## プログラム期間中の生活について

### ■ 宿泊先の種類:

学生寮

### ■ 宿泊先の様子、どのように見つけたか:

NUS の Tembusu College というところの寮に宿泊しました。UTown というキャンパスの中にあり、授業の部屋からすぐのところであり、とても便利でした。一人部屋で、ベッドと机、クローゼットのためのシンプルな部屋でした。料理などはできません。NUS から連絡があり、この寮に宿泊するよう指示されました。

### ■ 気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等:

現地の気候は夏の日本と同程度です。大学内にスーパーとコンビニがあり、多くの必需品はそこで購入できました。交通手段としてはバス(大学のすぐ近くにバス停あり)か MRT(大学から無料シャトルバスで Kent Ridge 駅まで行くか、20 分ほど歩いて Dover 駅まで行く)を選ぶことになります。市の中心地まで出るには小 1 時間かかるのでやや不便です。食事は大学内の食堂を使うと一食 350 円程度で買えます。普通のレストランに行くと 800 円程度しますが、ホーカーセンターという屋外大衆食堂ならば 300 円以下で食べられる場所もあり、とても経済的です。

### ■ お金の管理方法、現地の通貨事情:

プリペイドのクレジットカードを持っていきました。現地で大学に授業料を支払わなければならないのでカードは必須です。また、ez-link または NETS FlashPay という日本の Suica に対応する電子マネーを買っておくととても便利です。MRT の駅で購入できます。

### ■ 治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理:

シンガポールは治安が良く、特に心配することはありませんでした。ただ、屋内外の気温差が大きく体調を崩しやすいので体温調節ができるようなものは必須です。

### ■ 自由時間に利用した交通手段:

タクシー, 列車, バス

### ■ プログラム期間中に利用したネット環境:

キャンパス Wifi, SIM

## 参加前の準備・手続きについて

### ■ プログラムへの参加手続き:

基本的には NUS から送られてくるメールに従ってフォームの記入などをします。内容としては、今回のプログラムへの申請とそれに伴う大学サイト(UTAS のようなもの)への登録をしました。

### ■ ビザの手続き:

今回のプログラムは 30 日未満だったため、ビザ申請をせずに渡航しました。大学から学生ビザの申請は不要との連絡が渡航前に来ました。

### ■ 医療関係の準備:

大学の定期健康診断を受けた他、薬をいくつか持参しました。予防接種は特に受けていません。

<b>■保険関係の準備:</b>
大学指定の海外留学保険に加入しました。NUS から他の保険に入るように求められることはありませんでした。
<b>■東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続き:</b>
単位取得はできないため、学部での手続きは特にありませんでした。また、S セメスター, S2 タームの授業を履修しなかったので履修にあたっては特に手続きは必要ありませんでした。
<b>■語学関係の準備:</b>
留学の一年前にIELTS6.5を取得していました。語学の学習としてはニュースを英語で読んだり Youtube の英語試験対策の動画でリスニングをのばしたりしました。

### 費用・奨学金に関すること

<b>■参加するために要した費用:</b>	
航空費	70000 円
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)	120000 円
教科書代・書籍代	0 円
海外留学保険料(東京大学指定のもの)	9000 円
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)	0 円
<b>■その他、補足等:</b>	
<b>■留学先で費やした生活費:</b>	
家賃	80000 円
食費	40000 円
交通費	5000 円
娯楽費	20000 円
<b>■その他、補足等:</b>	
<b>■プログラム参加のための奨学金の受給有無:</b>	
受給した	
<b>■奨学金の支給機関・団体名等:</b>	
JASSO, Santander 銀行	
<b>■受給金額(月額):</b>	
200000 円	
<b>■受給金額についての補足等:</b>	
<b>■奨学金をどのように見つけたか:</b>	
大学(本部国際交流課)からの案内	

## プログラムを振り返って

### ■プログラムに参加したことの意義、その他所感:

都市という一つのテーマに対して、国際化や市民参画など多様な視点で各国の熱心な学生と議論することができ、とても魅力的なプログラムでした。数多くの場面でアウトプット(議論での発言、モデルを用いたプレゼン、エッセイなど)を求められる授業スタイルにはじめは苦勞しましたが、徐々に慣れ、アウトプットの前提となる質の高いインプットを得ることができるようになりました。都市国家であるシンガポールという環境は都市を考える上でとても刺激的で興味深く、長所と課題を含め、各国の学生と有意義な議論を交わすことができました。

### ■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響:

進学選択では、都市や建築に関する学科に進みたいと考えています。

### ■進路・就職先(就職希望先):

公的機関, 民間企業

建築や都市計画に関する職に就きたいと考えています。

### ■今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス:

内容は社会学なので、理系の学生には取っつきにくい部分もあるかもしれませんが、逆にこれまでにない知見を得られるよいチャンスだと思います。また、シンガポールという国をケーススタディとすることでこの国の興味深さを知ることになるでしょう。

### ■準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物:

Go Global